

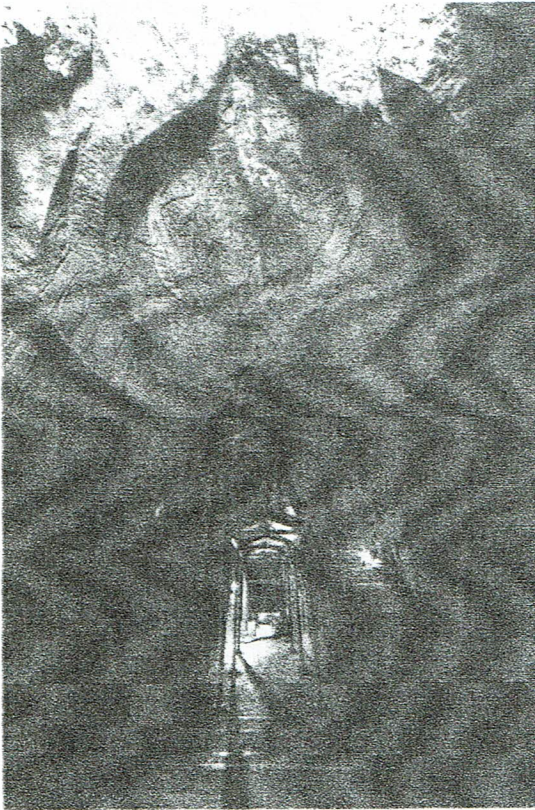
「田谷の洞窟」後世に

定泉寺（横浜市栄区）の境内にある「田谷の洞窟」（田谷山瑜珈洞）の内部を3次元データ化し、保存する取り組みが進んでいる。風化や劣化が進む貴重な史跡を、後世まで残すことが目的。資金の一部をクラウドファンディング（CF）で募り、2020年までの完成を目指す。（尹 貴淑）

内部の彫刻 3Dデータ化

この洞窟は、真言密教の修行道場として鎌倉時代初期に開かれたとされる。内部は3段構造で複雑に入り組み、全長は570m。壁や天井には数百年にわたって修行僧らが彫ったレリーフ状の佛像や竜、梵字の曼荼羅などが残り、市の登録地域史跡にもなっている。

活動を担うのは、田谷の洞窟保存実行委員会。この洞窟は、真言密教の修行道場として鎌倉時代初期に開かれたとされる。内部は3段構造で複雑に入り組み、全長は570m。壁や天井には数百年にわたって修行僧らが彫ったレリーフ状の佛像や竜、梵字の曼荼羅などが残り、市の登録地域史跡にもなっている。



④「田谷の洞窟」内部の彫刻（園田賢史さん撮影）⑤保存活動に取り組む田村さん（左）と渡辺さん＝横浜市栄区



とで360度を見ることができ、スマホでのアプリ展開も検討している。

CFの目標金額は120万円。近く予定している、専門家らの本格的な基礎調査の資金にする。

田村さんは「データ化すれば実際に来られない人でも見ることができ、誰にでも開けた場として洞窟が継承できる。地域に役立つ形で記録保存ができれば」と期待を込める。

CFは、「CAMPP IRE」のサイトで29日まで実施している。問い合わせは、田村さんのメール（tyamura2@nifty.com）。

全国百八十八札所
四国西国坂東秩父

総拝霊場

田谷の恩廻

横浜市栄区 田谷三 聖蹟寺



SAKAE II Water Treatment Center

栄第二 水再生センター

南谷戸のおおわらじ (横浜市戸塚区下倉田町)

旅行時期 2011 01 02 - 2011 01 02 (2011 01 04投稿)



南谷戸 (みなみやと) のおおわらじ

南谷戸は鎌倉道と東海道との分岐点にほど近く、昔から往来の多い所でした。多くの旅人が、道祖神のわきでわらじを履き替えたり、支度を整えたりしていたため、いつしか道中安全の名所として知られるようになりました。

鎌倉時代、村人が小枝にわらじを吊るし、村の安泰と旅人の安全を祈願したのが、大わらじのルーツといわれています。

現在のような巨大なものが作られるようになったのは大正初期からとのこと。

(戸塚区のHPから抜粋)